

茅体協だより・号外 第85回高南一周駅伝競走大会特集

茅ヶ崎市体育協会広報・機関紙



茅体協だより

号外37号

待ちに待った気持ちを解き放て！

第85回高南一周駅伝競走大会

72チームが心新たに駆けぬける

全カテゴリー5区間。総距離は、男子は16.45km、女子・小学生は14.05km。スピード化が加速する駅伝に各チームがどう対応するか、見どころです。

【支援に感謝】

高南駅伝は、選手・監督やチームを支えるサポーター、大会を運営するスタッフそして多くの団体からのご支援・ご協力のもと、長く歴史を刻んできております。

高南駅伝(のぼり)が、選手を後押しします！

湘南の海と空をイメージした青を基調とし、選手に元気づけていただきたく、「快調！快走！絶対調！高南駅伝」。第70回大会時に地元事業者の皆様にご協賛いただき、作製することができました。これからも多くの方々に支えられ、発展していく大会となるよう願っています。

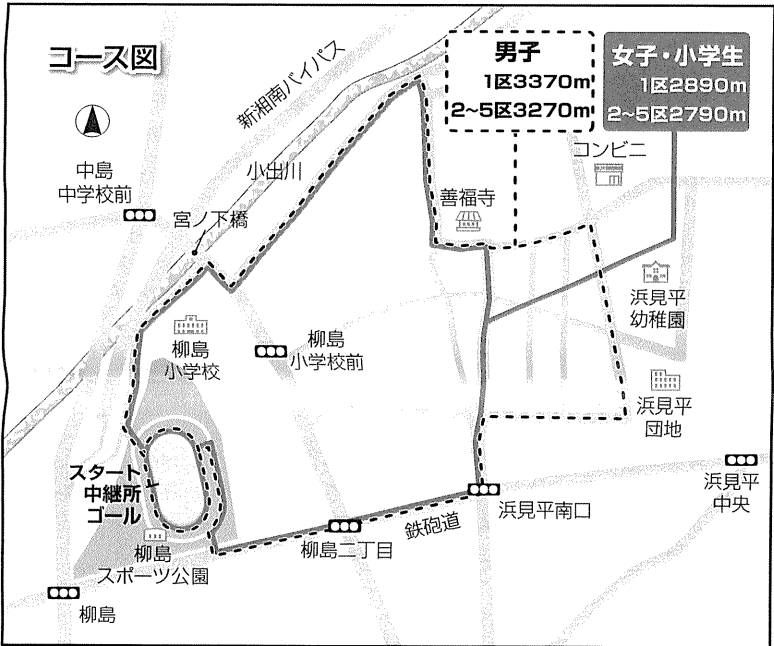
ご協賛団体(五十音順)

稲岡ハウジング(株) オギノ地所 神奈川電設(株) カワグチスポーツ

私たちの高南駅伝が戻ってきました！ 新型コロナウイルス感染症拡大のために、令和2年1月開催を最後に2年間中止していた高南駅伝。いまだ感染拡大は終息していませんが、高南駅伝を愛する選手、関係者の熱い思いが、大会再開の後押しにもなりました。県内で最古の駅伝「高南一周駅伝競走大会」いよいよ、リスタートです！

【会場変更。スピード駅伝に】

「茅ヶ崎におけるランニングの拠点は陸上競技場から」という思いから、第81回大会から柳島スポーツ公園発着に。浜見平エリアの主要道路の渋滞緩和、ランナーの安全確保を念頭に置き、茅ヶ崎警察署の指導・助言を仰ぎながら、市と体育協会、陸上競技協会が知恵を出し合い、新コースが出来上がっています。



通過予定時刻 ※先頭ゴール予定時刻:男子9時25分 女子10時40分

Table with columns for gender/age group, recruitment time, and start times for each zone (1-5).

※女子・小学生最終ランナーゴール予定は、午前11時ごろ。

【優勝の行方は】

82回大会は、1部地区対抗では、男女は松林が10年連続のアベック優勝。2部(実業団・高校・大学・専門学校)は男子が市役所、女子が鶴嶺高校と優勝を分け合った形。小学生の部は梅田が4年ぶり3回目の優勝。それから3年を経て各チームはどう変わっているのか。

◎男子1部(地区対抗)

前回は、全区間で先頭が入れ替わる混戦状況から、最後に松林が抜け出し優勝。今回も激戦が期待される。

2秒差という史上まれにみる激戦を制し、10連覇という偉業を達成した松林。今回は、優勝時のメンバーは一人だけだが、脈々と受け継がれる駅伝魂が新メンバーにも宿っており、新たな松林チームがみられるだろう。

その王者松林を最後まで追い詰めたのが鶴嶺。今回は優勝候補と呼び声が高い。古豪復活の意気高く、前回出場者もそろって70回大会以来の栄冠に挑む。

前回、上位進出と注目されていた西浜。結果は5位だったが、3区終了時点で先頭に立つなど、見せ場を作った。今回は大幅にメンバーを代えて、見せ場を作った。今回は大幅にメンバーを代えて、見せ場を作った。

他チームが多数メンバーを代えている中、浜須賀は前回3位のメンバー4人を擁す。そこに全国レベルの中学生を加え、若手と強力なベテランが揃った。かつて連勝を重ねた時期もあり、新たな最強伝説の幕開けとなる。

松林は、前回1、2区を沸かせた強力ランナーを後半区間に配置。前半区間で先頭争いができれば優勝も見えてくる。逆に前回7位の梅田は1区にエースを起用。駅伝はチームの意思どおりに展開できれば強い。前半勝負か、後半巻き返しか、見どころ十分だ。

前回一桁順位を逃した香川は、かつて高南駅伝を大いに沸かせたベテラン選手がそろった。安定感抜群。スピード駅伝にどうマッチしてくるのか。

今回こそ地の利を生かして順位を上げたい湘南(前回16位)。地元の大応援を味方につけ、一桁順位を目指す。

小出(前回8位)は、日ごろから起伏のあるコースで十分鍛えており、この平坦なコースでも走りの強さを発揮してほしい。

東海岸(前回13位)、茅ヶ崎南(前回30位)も新メンバーが多く、新たな戦力となってチームを盛り上げ、過去の順位を上回ってほしい。なお、残念ながら鶴が台、浜見平の2地区が不出場。この3年の間で、チームの活性化が難しい状況にあったものと推測する。それぞれの事情をいい意味でプラスに捉え、またいつか全地区からの参加をいただき、オール茅ヶ崎の大会として長く続けていきたい。

◎男子2部(実業団・高校・大学・専門学校)

今年も市役所と鶴嶺高校のデッドヒートが展開されるか。前回高校チームを寄せ付けず、1区から先頭に立ちそのまま独走した市役所。成長し続けるチームで、連覇を自らの義務と課す。

一方、ここで負けてはいけない鶴嶺高校。若い力をぶつけてほしい。

老舗チームの東邦チタニウムと東海カーボン、そしてTOTO。長年大会を盛り上げてきた功労ランナーたちの熟練の走りが、上位進出の力となる。

前々回3位と躍進した茅ヶ崎警察署。前回は市役所と高校チームの力に屈した形だが、メンバーを一新し、新たな力で再び3位以内を目指す。

アルバックは4チームでエントリー。高南駅伝を愛する仲間たちが増えた気分、うれしく頼もしいかぎりである。是非、前回は上回る成績とともに、コースをきぎかしてほしい。前回に比べ6団体7チーム少ないエントリーだが、男たちの熱い走り盛り上げてほしい。

◎女子1部

前回5区での大逆転で10連覇を達成した松林。今回も強い松林を期待しつつ、打倒松林を合言葉とする各チームの必死の走りが楽しみだ。

その打倒松林の筆頭が、前回4区まで先頭を走っていた松浪。今回は長年エースを務めてきたランナーを欠くが、優勝にかけた想いはどこよりも強い。

前回2位の梅田、今回は一般ランナーをそろえ、虎視眈々と頂点を狙う。また、小出(前回12位)も、一般ランナー中心といった布陣で、着実に順位を上げていきたい。一方前回3位の浜須賀、6位の西浜、9位の鶴嶺は、中学生のスピードと一般ランナーの経験値で、上位を窺う。茅ヶ崎南(前回13位)、東海岸(前回19位)は、上位には少し水をあけられている感はあるが、継続して挑むことでチャンスは生まれてくることを。まずはしっかりとタスキを繋いでほしい。

高南一周駅伝競走大会・歴代優勝チーム

Table showing historical winners for various categories: Men's 1st, Men's 2nd, Women's 1st, Women's 2nd, and Regional Elementary School Children's.

地元の湘南(前回14位)もなかなか上位進出には届いていないが、コースは我が庭、地元の声援を力に変え、期待にこたえてほしい。

香川、浜見平、鶴が台の3地区がやむなく欠場。男子同様、全地区が出場する中で互いの健闘を称えあう素晴らしい時が来ることを願う。

◎女子2部(実業団・高校・大学・専門学校)

今回は2チーム。本大会では常に相まみえる両チームだが、やはり高校駅伝などレベルの高い大会で戦っている鶴嶺高校に分がある。はたして市役所はこれまで食いつかれるか。

◎地区対抗小学生の部

前回、梅田は、2区から盤石のレース運びで他を寄せつけなかった。メンバーは総入れ替えだが、先人の勝負魂は受け継がれており、連覇への士気も上がっている。

他チームも多くが初出場ランナーであり、レース展開の予想は極めて困難。一人ひとりが持っている力を存分に発揮し、怪我無く、体調も崩さず、"one for all, all for one"の精神で無事にタスキを繋ぎ切ってくれることを願う。

小学生の部が導入されて16年目、寒風をつく子どもたちの勇姿が浸透してきたところではあるが、少子化の進行など地域の事情により、残念ながら未だ全13地区からの出場は果たされていない。この数回は、11地区が2年連続、前回は8地区として今回は7地区と、参加地区が減っている。それぞれ地域の事情があり、チーム作りも困難なケースもあると思われるが、全地区から元気な小学生がこの大会に参じてくれることを期待する。

歴史を感じて走ろう！

第85回高南一周駅伝競走大会参加者一覧表

男子1部 (地区対抗) エントリー：30チーム
※氏名の前の○=中学生。●=ふるさとランナー。

距離	16.450m	3.370m	3.270m	3.270m	3.270m	3.270m	3.270m	補欠1	補欠2
No	カバ-	チーム	監督	1区	2区	3区	4区	5区	
1	1	鶴嶺A	小室 誠一	●鈴木亮太	川奈優輝	小林瑠偉	小室駿也	早川晴仁	○山崎 瑠
2	20	鶴嶺B	小室 誠一	●柿本勇和	○工藤大河	○澤田拓人	篠崎倫崇	○飯塚翔太	○本間伊織
3	22	鶴嶺C	小室 誠一	○柴田悠真	深瀬 功	○林 勇人	○竹中麻陽	田部井健司	○吉川宗彦
4	31	鶴嶺D	小室 誠一	○高橋路弘	○一色歩武	○高橋興輝	青木武史	赤羽根昭夫	
5	33	鶴嶺E	小室 誠一	○成田充希	小室浩二	小室誠一	○遠藤 空	○堤 大地	
6	2	梅田A	本間 廣市	●数田峻也	三浦向陽	小林弥太郎	○白髭拓歩	中野靖士	鈴木勝彦
7	24	梅田B	本間 廣市	○野口瑞史	○石井信行	邊野英満	谷津海斗	●谷津徳高	○富樫宙大
8	29	梅田C	本間 廣市	○鎌田晃輔	米川岳明	米山貴康	本間一樹	○猪狩奏大	
9	3	松林A	白井 一三	梅田真穂	○上出陸仁	○新戸光治	●青野 航	長谷川光	○能美翔太
10	30	松林B	白井 一三	中村直樹	○菅沼悠斗	細谷隼斗	●金子隼也	古田島駿太	○須賀田来太
11	36	松林C	白井 一三	○宮本輝一	○周防徳弘	○末綱希成	●佐藤諒一	井戸裕也	○前野流大
12	42	松林D	白井 一三	大内 豊	沖山貴之	池西達郎	木村勇人	清水弘之	○石塚楓人
13	10	松浪A	平田 英司	齋木優真	羽柴正康	日向一心	小泉翔太	伊藤裕斗	●大井戸達
14	48	松浪B	平田 英司	○斎藤勇輝	○齋木大翔	夏日光一	石山智弘	齋藤海陽	○島津慧斗
15	8	浜須賀A	足立 淳弥	福澤彩仁	○小沼虎白	船津航世	田代 照	横山貴臣	足立淳弥
16	9	浜須賀B	足立 淳弥	○猪子 勇	○安田駿流	○小関 空	田代 玄	早川隼人	前田 護
17	26	浜須賀C	足立 淳弥	○南山大知	○吉川遥紀	○志保田悠来	森新太郎	岩崎裕行	
18	11	西浜A	丸山 克己	太刀川豪	加藤琉生	○加藤正樹	○森孝太郎	三橋颯輝	池上 宏
19	34	西浜B	丸山 克己	○杉山英輝	○堤 龍仁	佐藤英輔	西海義洋	木原啓介	○高橋翔真
20	14	香川A	小松 隆雄	葛西威志	武田 強	松下耕三	●竹内一平	青野正道	長谷川明洋
21	17	湘南A	青木 安男	小又慎吾	○川島未未	中塚 翼	○川本羽洲	杉原悠斗	○鈴木杜和
22	18	湘南B	青木 安男	嶋野俊輔	清水雅也	○杉崎匠洋	○中澤颯大	○梶 瑛太	○大滝 航
23	41	湘南C	青木 安男	●山崎 優	鈴木秀明	○高堂敬介	○小林斗雅	○相澤悠斗	青木安男
24	19	小出A	秋津 正雄	山下美恩	○長田 淳	瀧谷結希	團 夕月	茂木隆治	常盤直美
25	32	小出B	生川 澄夫	石田勇人	生川純平	清水優太	●丹波翔平	○木村永遠	
26	46	小出C	内藤 秀雄	長谷川和樹	日高大司郎	村松純一	内藤秀雄	●福原斗志樹	
27	23	東海岸A	小林 隆哉	○黒田晴暉	○林 蒼介	真船光平	大里明広	●園分基彦	鈴木大夢
28	28	東海岸B	小林 隆哉	安藤昌教	滝 晃一	高口柁記	若松成樹	豊田太郎	○茂串快晴
29	25	茅ヶ崎南A	河井 朋洋	○夢登空海	平島希彦	○平島匠人	大河内大介	○八懸太陽	○茂串快晴
30	37	茅ヶ崎南B	河井 朋洋	○巖島颯佑	○江上湧春	市川幸一	伊藤欽章		

女子1部 (地区対抗) エントリー：16チーム
※氏名の前の○=中学生。●=ふるさとランナー。

距離	14.050m	2.890m	2.790m	2.790m	2.790m	2.790m	2.790m	補欠1	補欠2
No	カバ-	チーム	監督	1区	2区	3区	4区	5区	
1	102	浜須賀A	足立 淳弥	○船津美夕	○千葉紀奈乃	田中琉奈	○幾原理帆	●伊藤由希子	
2	117	浜須賀B	足立 淳弥	○木村萌夏	○前田凛々愛	前田麻有子	岡本和代	●尾形ひとみ	○藤井茉莉花
3	103	松浪A	平田美津子	○神保 桃	今泉優亜	田村桃子	○櫻井杏海	○中川万菜	櫻井千夏
4	108	湘南A	青木 安男	瀬戸 幸	○小平結愛	杉原しずく	○佐々木ゆづ	○那須みりあ	
5	135	湘南B	青木 安男	熊野侑衣那	○新倉悠乃空	○外山和花	佐藤知子	若松順子	
6	114	茅ヶ崎南A	官谷 信子	大河内みどり	星野咲季	広瀬真理子	○波多野結子	○高橋百々葉	波多野起子
7	115	松林A	白井 一三	福田愛敬羽	○森田心望	○宇野雪莉那	○和田歩夏	○田中琉愛	由利優香
8	126	松林B	白井 一三	○安田妃徳	○米島優瑠	○新田夏未	武川由加里	清水陽子	○女屋つき
9	116	東海岸A	山下 知子	○大浦衣織	○鈴木きらり	川崎良枝	田淵恵美	鎌石恵子	柴井あかね
10	118	鶴嶺A	赤羽根昭夫	○城間美空	○小倉美優	○松下翔音	小倉彩優	戸嶋りさ	戸嶋ひとみ
11	119	鶴嶺B	赤羽根昭夫	○鈴木美優	○塩田泰依	○牧結衣菜	末廣このは	末廣くるみ	小林蒼空
12	123	鶴嶺C	赤羽根昭夫	○野口琴未	○大関さら	中安かおり	田中麻子	山藤由子	
13	124	鶴嶺D	赤羽根昭夫	野村理名	○南 朱乃	吉元やよい	千葉光枝	内城あき子	
14	120	西浜A	丸山 克己	野中海音	○森 穂果	酒井小百合	○野中彩波	○亀澤結衣	池内絢音
15	121	梅田A	本間 廣市	○川端梨聖	○久保ひなた	坂巻万理奈	仲宗根英	武田みどり	○瀬川奈々
16	122	小出A	生川 広美	目黒矢芽李	○長田 香	生川広美	日高恭子	今宮深雪	澁谷真希

女子2部 (実業団・高校対抗) エントリー：2チーム

距離	14.050m	2.890m	2.790m	2.790m	2.790m	2.790m	2.790m	補欠1	補欠2
No	カバ-	チーム	監督	1区	2区	3区	4区	5区	
1	151	鶴嶺高校A	中山 雅浩	山本 羽	野枝 里帆	水島菜々花	太田 充咲	志保田り寧	井上 心菜
2	165	茅ヶ崎市役所A	八幡 正勝	藤井 由香	井出三津子	安江麻衣子	宮本 駒子	橋本 智美	本間 凛

地区対抗小学生の部 エントリー：13チーム

距離	14.050m	2.890m	2.790m	2.790m	2.790m	2.790m	補欠 男子	補欠 女子	
No	カバ-	チーム名	監督	1区	2区	3区	4区	5区	
1	255	鶴嶺A	菅原隆雄	大沼暖和	小畑瑞奈	石崎美嘉	依藤里桜	川端慧流	宇田祐哉
2	261	西浜A	丸山克己	粕谷さばる	池内心香	日比奏大	友山果歩	森橋太郎	小林大祐
3	262	西浜B	丸山克己	若命トアイ	清水優杏	緒方孝太	旭ひらり	高久新太	太刀川雅
4	259	小出A	石井章雄	清水岳太	今宮百愛	野中 輝	川田和瑠	飯塚海凜	澁谷颯大
5	263	梅田A	緒方武人	本間優人	美登香那	武田遼大	細矢千晴	米田樹央	三階凌史
6	264	梅田B	緒方武人	中尾 匡	高橋花風	山下 連	川上優絆	磯崎圭吾	福島湊人
7	269	東海岸A	小林隆哉	品川昌也	高山歩望	堀川涼雅	大園菜菜	影田愛也	豊田蒼馬
8	270	東海岸B	小林隆哉	影田結也	福島そのみ	鳥居 煌	飯島乃咲	三木陽太	平林香祐
9	273	浜須賀A	足立淳弥	米山大翔	小沼瑞乃	横山和哉	福田樹里	嶋 武蔵	小原慶士
10	274	浜須賀B	足立淳弥	木戸恒希	櫻田沙莉	堀内海詩	三橋麻未	芦菜湊人	鎌山 巧
11	275	湘南A	青木温子	今江鈴之助	生田彩夏	鷲巣 翔	青木千咲希	加藤蒼大	古屋慎太郎
12	276	湘南B	加治屋珠理	吉本莉久	川村桜子	小林あゆむ	室賀咲葉	山口大登	森田登希
13	283	湘南C	高橋正輝	長優之介	廣井心都	石井 權	飯間愛彩	久保守優空	廣井鴻志郎

男子2部 (実業団・高校対抗) エントリー：11チーム

距離	16.450m	3.370m	3.270m	3.270m	3.270m	3.270m	補欠1	補欠2	
No	カバ-	チーム	監督	1区	2区	3区	4区	5区	
1	61	TOTOA	赤司浩一郎	足立 進	鈴木 健太	高江洲英希	川辺 将剛	石川 和宏	中村 遼太
2	63	東海カーボンA	藤井 健	露木 慎太	安田 真	佐々木正直	伊藤 篤朗	松井 光洋	藤井 健
3	66	茅ヶ崎市役所A	八幡 正勝	柿澤 良昭	藤崎 直哉	佐藤 大毅	細野 松宏	増田 勇太	荻原 大輔
4	67	茅ヶ崎市役所B	八幡 正勝	池元 佑輔	八幡 悠平	小泉 竜太	村山 亨司	八幡 正勝	伊藤 義昭
5	70	鶴嶺高校A	中山 雅浩	今井 拓海	刀根 暖広	紙屋 俊彦	都甲 顕宏	高橋 結希	中山 雅浩
6	71	東邦チタニウムA	小森研太郎	甲斐 翔太	長谷川浩一	石川 哲平	河野 浩之	魚住 俊也	小森研太郎
7	81	茅ヶ崎警察署A	並木 章	立石 優太	綱島 淳	並木 章	川島 功裕	谷口 怜	渡邊 陽和
8	98	アルバックA	笹尾日出人	関根 元氣	須磨 明德	齋藤 修司	高橋 佑太	安永 民	柳 佳宏
9	147	アルバックB	笹尾日出人	難波 隆宏	松永 燦典	星谷 光祐	清水 秀樹	長崎 傑	武者 和博
10	148	アルバックC	笹尾日出人	東 明男	加藤 優祈	小泉 進	伊藤 裕康	松本 直也	武者 和博
11	149	アルバックD	笹尾日出人	飯田 真一	保坂 竜介	原 敏幸	小関 圭	尾形 篤	尾形 篤

高南一周駅伝競走大会の由来と現況

神奈川県体育史には次のように紹介されている。
『本市の体育協会は野球部オンリーの協会であったが、種目を増やそうと協議を重ね、小学校を対象とした神社参拝リレーを計画し、当時の小学校は高等科(現在の中学生)があつて、この生徒によるマラソンを考えた。(略)戦時中でもあり軍国調はなやかの時でもあつたので、「戦勝祈願神社参拝継走大会」と銘打ち、第一校区(茅ヶ崎小)・第二校区(鶴嶺小)・第三校区(松林小)の間でカップ走奪戦をやつた。この行事を始めたのが昭和14年である。』
特徴としては、あくまで生徒が中心ではあつたが、大人・青年団員が走ることも数区間あつた。コースは、スタートが敵島神社(新町)から、ゴールは現在の茅ヶ崎小学校であり、中継は各神社ではあるが、その区間は6、22区間と変動的であつた。
昭和21年と昭和22年2月11日開催の名称が「高座南部体育大会区一周マラソン大会」となつてゐる。すなわち、昭和22年10月1日「茅ヶ崎市」として町から市に変わる以前は、高座郡茅ヶ崎町であつた。高座郡とは、現在の相模原・大和・海老名・綾瀬・藤沢・寒川・茅ヶ崎が含まれてゐる。この高座郡の南部方面をコースエリアとして駅伝大会が行われたということから、「高座郡の南部方面」↓「高南」↓「高南一周駅伝競走大会」という名称になつた起源である。
コースは、いろいろと変遷したが、一番広範囲となつた時には、茅ヶ崎駅北口をスタートし、国道一号(東海道)を東へ進み二ツ谷神社(新湘南バイパス)から大山街道を西に走つて、高田・甘沼・長谷戸を経て堤七曲を駆け上り、昔の小出支所・藤沢の遠藤支所から御所見中学校・用田へ、南下して岡田・田端・萩園・今宿から国道一号を東にひた走り、今のエメロードから茅ヶ崎駅北口をゴールとする29キロにわたる熱戦・激戦が繰り広げられた。正月2日3日の「箱根駅伝」に匹敵する賑わいであり、成人の日に開催される茅ヶ崎伝統の一大イベントでもあつた。
その後、市が発展するにいたが必然的に交通事情の悪化を招いて、全市規模での駅伝コースは困難となり、ついに昭和53年の第40回大会から、茅ヶ崎北陵高校の周辺コースに変更せざるを得なくなつた。
そして昭和59年の第46回大会より、より一層の交通安全と大会運営の円滑化を期して、北陽中学校へと移して開かれてきた。
ところが、折からのジョギングブームを反映して、駅伝やマラソンへの関心が高まり、「伝統あるこの駅伝を、以前のように市内を一周するコースに戻せないか」という声も、数多く寄せられるようになった。
そこで、このような意見をもとに検討を重ね、諸機関・諸団体のご協力をいただき、平成4年の第54回大会より会場(スタート・中継所・ゴール)を茅ヶ崎市総合体育館に移し、市の中西部を周回するコースに変更して開催された。参加の拡大も継続的に検討されてきた中、昭和55年の第42回大会から女子の部が導入された。
また、中学生が地区対抗の部で走れるようになったのは、平成元年の第51回大会からである。その前年(第50回記念大会)に、中学生選抜チームを編成。豊富な練習量により、各ランナーが好タイムを出し、女子は優勝。男子は一般ランナーと同じ長い距離にも対応できることを実証してくれた。以後、中学生にとつてもこの大会に出場することが一つの目標となり、飛躍の第一歩となつてゐる。
そして、小学生地区対抗・ふるさとランナーの参加や祭り囃子・のぼり旗の応援など、高南一周駅伝競走大会が新たな時代に突入したのが、平成20年の第70回記念大会からである。
平成26年の第76回大会では、被災地である陸前高田市の小学生を招待し、ともに汗をかき、絆を深めることができた。
前々回からは会場を変更し、柳島スポーツ公園を中心としたコースに変更し開催されることとなった。今後も引き続き多くの皆様・関係団体からのご理解・ご支援・ご協力で開催できることに感謝しながら、さらに魅力ある茅ヶ崎らしい駅伝大会にしていきたいものである。